

善循環の集い in 岡山

期日：2018年7月28日(土)13:00-17:30

会場：岡山シティホテル厚生町 〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1-20

児島湖(写真提供：岡山県)

進化するEMテクノロジー EM 開発者 比嘉照夫博士特別講演



■比嘉照夫博士略歴

1941年沖縄県生まれ。琉球大学名誉教授。琉球大学農学部卒業。九州大学大学院農学研究科博士課程修了。農学博士。EM技術の開発者として知られるEMの世界的権威。2017年9月に最新刊『愛と微生物のすべて』(ヒカルランド)を上梓。

■EM (Effective Microorganisms 有用微生物群)

EMとは、乳酸菌、酵母、光合成細菌などの、人と地球を元気にする微生物の集まりです。EMテクノロジーとは、微生物の共生を利用した抗酸化技術であり、農業、畜産、環境、建設、工業、健康、医学など幅広い分野で活用され、世界150か国以上で普及しています。2011年に起きた東日本大震災により、原発事故で被災した福島県の放射能除染活動にもEMは用いられています。

■「善循環の集い」とは

「善循環の集い」は、地球環境共生ネットワーク(U-ネット)がEM技術の普及を目的として全国で開催しているイベントです。EM技術の開発者である比嘉照夫博士の講演や、開催地でのEM活用事例の発表等を通じ、EMを用いた活動への賛同を呼びかけています。

プログラム

12:30	開場(受付開始・昼食は済ませてお越しください)	参加費用¥500(資料代)
13:00-13:05 (5 min)	開会のご挨拶 認定NPO法人地球環境共生ネットワーク 近畿中国地区 理事・執行委員 土井博義	
13:05-13:15 (10 min)	U-ネットのご紹介 伊藤由規(認定NPO法人地球環境共生ネットワーク事務局)	
13:15-14:40 (85 min)	「EMと健康について」講演：田中佳(埼玉県朝霞厚生病院 医師)	
14:40-14:50 (10 min)	休憩	
14:50-15:10 (20 min)	事例発表①「相生湾の水質浄化 - 生物多様性に向けた里海づくり -」講演：松村晋策	
15:10-15:30 (20 min)	事例発表②「児島湖水質浄化の取り組み」講演：土井博義(U-ネット近畿中国地区 理事・執行委員)	
15:30-15:50 (20 min)	事例発表③「一主婦のEM生活」講演：高田えみり	
15:50-16:00 (10 min)	休憩	
16:00-17:30 (90 min)	比嘉照夫博士特別講演「EM技術の最新情報」	
18:00-19:30 (90 min)	懇親会(岡山シティホテル厚生町)	(プログラムは変更される場合がございます。ご了承ください。)

ご参加に際して事前登録の必要はございません。参加費用(¥500)をお持ちいただき直接会場へお越しください。

主催：認定NPO法人地球環境共生ネットワーク(U-ネット)

児島湖流域水質浄化大作戦

岡山県の人口の3分の1が集中し岡山市・倉敷市を中心とした4市2町の経済効果を担っている児島湖流域(648.7km²)は、岡山県の中心的な位置づけにあります。1985年(昭和60年)12月、湖沼水質保全特別措置法に基づく指定湖沼に指定され、5年ごとに定める「児島湖に関わる湖沼水質保全計画」に基づいて、国や県、流域市町、県民、事業者が一体となって保全対策に取り組まれてきました。いま、私たちは、次世代に限りなく自然系に近い水質環境に蘇生した形でふるさとを継承していきたいと、「児島湖流域水質浄化大作戦」を立ち上げ、活動計画を実践しています。

私たちの活動の目標

児島湖に流入する倉敷川、足守川、笹ヶ瀬川、鴨川をはじめ湖水面積10.88km²有する児島湖に、昔ながらの水生动植物が繁茂する水質が甦ることを目指します。

私たちの活動

私たちが暮らしている地域で汚染された用・排水路の河川の浄化は湖の浄化、ひいては瀬戸内海の浄化へと繋がっていきます。一人ひとりの生活圏域での小さな浄化活動が「児島湖の正常な自然体系の蘇生」となってゆくことを願って、EM 活性液や EM 団子を投入して行きます。



第3回ユニバーサルビレッジ国際会議における
マサチューセッツ工科大学 正木一郎博士の目頭のスピーチ

「人類の危機をEMで克服」

世界の人々の心を捉えている戦争が、事故が、テロによる核物質の大爆発が、人類と地球環境を壊滅させるという恐怖感を取り除くためにも、これらの問題に対する唯一の解決策である比嘉博士の「微生物による元素転換」を科学的に立証する「新しい理論」を立てることに私は努めているところです。放射性物質を微生物によって元素転換することができるという「比嘉理論」に従えば、有害な放射性物質を無害な物質に変えることができるはずで、さらに、2013年に、全地球生態系の破壊を根本的に解決する目的で始めた「全地球生態の法則」も、比嘉博士や多くの友人の助けを得て、その全貌が明らかになりました。

正木一郎博士の略歴

早稲田大学卒。1994年マサチューセッツ工科大学に招聘。現在、同大 ITS 研究センター所長。上述の国際会議の創設者で、IEEE 副会長などを務め、米国のみならず日本の官公庁、民間企業の顧問、コンサルタント等多数の要職に就いている。

会場のご案内

会場名：岡山シティホテル厚生町

■タクシー

JR 岡山駅から約 7 分

■バス

乗り場：JR 岡山駅 5 番乗り場
行先：倉敷駅・中庄駅方面
下車停留所：光生病院前
所要時間：約 20 分

■車

山陽自動車道岡山 I.C より 20 分
山陽自動車道早島 I.C より 35 分
岡山空港より 40 分
駐車場 200 台



お問い合わせ先：認定 NPO 法人地球環境共生ネットワーク 土井博義：090-6403-1229